「利根川水系渡良瀬川河川整備計画（原案）」に対する公聴会

日 時：平成29年9月4日（月）13:40～14:00

会 場：①国土交通省関東地方整備局渡良瀬川河川事務所

発言者：公述人 4

それでは発言させていただきます。私は邑楽土地改良区の■■■をやっています■■■と言います。よろしくお願ひします。遅れちゃってすみませんでした。それでは発言したいと思います。

まず1つは、邑楽頭首工なんですけども、邑楽頭首工、ご存じだと思うんですけども、あそこのゲートからずっとコンクリートがちょっとなっているんですけど、その下、ちょっとそれが切れたところ、そこが、水の流れ、洪水というか水の多いとき、あのゲートを開けたときに、水が一気に流れ落ちます。そのときにコンクリートとその先にあります、泥がめくれちゃう。そうするとそのコンクリートが壊れる恐れが、壊れるというか、陥没する恐れがあると、これがうちの頭首工だと1200、1300haの全部を取水していますので、あれが今度壊れたとか、となったときにはまず取水ができなくなってくる、これを整備局の方には、これがあの1年とか2年とかで壊れるものではないと思うんですけども、できれば現地を見てもらって、そして適切な処置をしていただきたいと思います。あそこは、冬場の場合には水が濁水になりますから、冬場にかけて確認してもらえればと思っております。一応、前回は平成19年に公聴会をやったんですか、これが10年近く経っていますので、1回見てもらって、そして適切に、先ほども言いましたように対処していただきたいと思います。

次にもう1点なんですけども、実はあの藤岡町にある新開橋があると思うんですけども知ってますか。新開橋から上流に向かって、1km、2km弱ですかね。そこにうちの頭沼機場というのがあるんですよ。直接渡良瀬川から取水している水中ポンプで、そこから水を揚げていると、そこが約50haかな、用水を取って、50haくらいの田んぼに水を引いております。その頭沼水中ポンプ、機場、これが水の流れによって取水できなくなる恐れが多分にある。というのは新開橋の方から向かって浚渫工事をやって、今はあの下流に向かって左岸側、佐野市の方に土砂が堆積していますので、水の流れがうちの方にまだ来てるんです。取水する方に。その土砂等を取り除かれた場合には、今度水の流れが変わってくる。となると、取水できなくなる恐れがある、うちの取水している方に水が、土砂等が堆積した場合、あるいは、水の流れが佐野よりも土砂等があるのが浚渫された場合に水の流れが変わる。変わった場合にうちの取水ができなくなる。これが一番のうちの改良区としては一番の問題ですね。何回かあるんですよ、水が取水できなくなったのが、だから二段階にするかとか、だから一段1回堰を止めてそこから水を入れて、その水をまたうちの今現在ある水中ポンプでポンプアップすると、そういうことも考えたんですけども、まだ今のところはまず取水口を去年30cmくらい下げたんですよ。コンクリートをちょっと壊して。取水が良くできるように。それで今年は何んとか間に合いました。でも今度、全般的にその泥を撤去しなくても、20%の取水制限になると水の流れが、今度一気に下がっちゃいますから、去年あたりは冬場にコンクリートを30cm下げたんですけど、取水口を。去年の6月頃だったかな、取水制限20%くらいになったと思うんですけども、そのときには水がたまって水中ポンプが回るといことで、あそこはちょうど田植え時期ですから、24時間回らなくなった。水が少なくて、田んぼ、地権者等から何本か電話が来て、なんとか水が足らねえからもう少し出せと、でも水を出せと言っても水が来ていないんだか

ら、そうすると出せない。だから特に20%取水制限になったときとか、あとは水の流れが変わったときは、頭沼の機場がポンプアップできなくなると、そういうことも考えてもらって、浚渫工事等に関しては佐野方面の向こう岸、だから左岸側はちょっと気をつけながらやっていただきたいなど、こう思っております。

時間はありますか？あと、私が述べるのはだいたいこんな感じなのですが、まず一番心配しているのは、やっぱり最後に今、申し上げた頭沼機場、これが一番の近々の課題というか、だから必ず浚渫する場合は向こう岸でなく、右岸側を浚渫していただければ、水の取水、あそこの水をこっちに来るまでにうちのユンボがあるのですけれども、それで入って行って近くまで行って、それで何とか水の流れをこちらにこう頭沼の方に来るようにやってるんですけどもなかなか、まあ30cm下げたからなんとか今年は、中にユンボが入らなくても何とかできたのですけれども、まず今度やったとしても、さっきも言っていました左岸側を浚渫されると、本当に困るので、それをやる時にはだいたいこちら辺まででどうでしょうと、事務方と良く相談していただきたいということです。そちらの計画通りここからここまで浚渫しようという前に、浚渫する場合には必ずうちの改良区に話をしてもらって、そしてどうでしょうかと話し合いをしてもらってやってもらった方が良いと思いますね。やっていただきたいと、要望ですけれども。